

監査等委員メッセージ

犬賀 昌人

取締役(常勤監査等委員)
監査等委員会 委員長



この度取締役常勤監査等委員に就任しました犬賀昌人です。お二人の社外取締役(監査等委員)と力をあわせて、監査を通してガバナンスの強化と企業価値の向上に全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1つ目のガバナンスの強化につきましては、組織と仕組みを活用した監査を実施し、リスクアプローチにより監査の実質化を図ってまいります。組織の隅々で起こっている事象を拾い上げ、新しく当社グループに加わった会社や日本から地理的に遠い拠点であっても目の届く監査体制を構築したいと考えております。

2つ目の企業価値の向上は一見、監査とは縁遠い印象がありますが、取締役会の一員として中長期的な事業成長の議論に積極的に参画し、「2023中期経営計画」の進捗確認はもちろんですが、新紙幣発行後にらんだ次期中期経営計画が非常に重要であるとの認識の下、その策定にも強い関心をもって臨みたいと考えております。特に、ここ数年で行ったM&A案件の評価をしっかり行い、新たな戦略投資の成功確率を高め、そして事業ポートフォリオマネジメントの運用による事業の見極めと経営資源の配分が適切に実施されているかを注視したいと考えています。また、サステナビリティ経営という観点において、SDGsへの取り組みを強化していく必要がありますが、気候変動や人的資本など非財務的な施策への取り組みの遅れが会社にとって大きなリスクになることを念頭に、推進の後押しをしていきたいと考えています。

当社グループはまだまだ潜在力が残り、今後も成長できると思います。取締役(常勤監査等委員)という立場からリスクを未然に防ぎながら会社の成長に寄与できるよう精一杯務めてまいります。

加藤 恵一

社外取締役(監査等委員)



振り返ると、2023年3月期は部材の調達難や価格高騰、サプライチェーンの混乱等、当社グループにとって厳しい環境変化の影響を受けた1年でした。2024年3月期は2024年7月の新紙幣の発行に向けて、通貨流通インフラを支える企業としての社会的使命を果たすことで、当社グループの企業価値がさらに向上することを期待しています。

本年度も引き続き、監査等委員として、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上という目的達成に向けて、経営上の意思決定が適切に行われているかを監査していきたいと思えます。

また、社外取締役として、「投資家目線」を意識しつつ、これまで弁護士として得た知見や専門的な知識を活かしながら、当社グループの業務執行を監査し、モニタリングのさらなる向上に向けて貢献してまいります。「投資家目線」で捉えたときには、「中期経営計画」や「リスク投資案件(M&A、新規事業投資等)」に加えて、最近ではより注目が集まっている「SDGsに関する取り組み」です。これら各議題について、取締役会において建設的かつ実質的な審議を深め、成長戦略への効果的な後押しができるよう、社外取締役として引き続き尽力してまいります。

「2023中期経営計画」で掲げた「コア事業と新領域事業のクロス成長」というコンセプトの下、当社グループが時代の流れと向き合い、変化を恐れることなく社会が求めるモノづくりと技術革新に挑戦し、今後も発展し続けることを期待します。

生川 友佳子

社外取締役(監査等委員)



この度グローリー株式会社の社外取締役(監査等委員)に就任いたしました。私は税理士として主に、グローバルグループ企業に対する国際税務、国内税務コンサルティングやグローバルエンployヤーサービス(GES)業務に携わってきました。これらの経験を活かしたガバナンス強化及びダイバーシティ促進への貢献を期待されて社外取締役(監査等委員)に選任されたものと認識しており、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

グローリーグループは、「長期ビジョン2028」として、「人と社会の『新たな信頼』を創造するリーディングカンパニー」を掲げ、グループが持つ幅広い分野における最先端の技術力で、世界中の誰もが望む安全、安心、確実な社会の実現を目指しています。また、2024年7月に予定されている約20年ぶりとなる新紙幣の発行に向けて準備を進めているところであり、ステークホルダーの皆さまにグローリーグループの事業活動を認知していただき、より身近に感じていただけるステージになると期待しています。

社外取締役(監査等委員)として、初年度は、まずは、①スピード感を持った正しい意思決定、②グローバル視点で活躍できる人材の充実(採用、教育、ダイバーシティ)、③各国・各拠点(リージョン)間のコミュニケーション強化、への取り組みがしっかりとなされているかに特に注目し、取締役会における議論の促進とその質がさらに高められるよう貢献してまいりたいと思えます。